

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

アジア溶接連盟若手研究者セミナー in インドネシア

若手会員の会運営委員会委員長 佐藤 裕 (東北大学)

Report: International Welding Seminar 2007 in Jakarta, Indonesia

2007年10月23日～24日の2日間、インドネシアの首都ジャカルタのホテルにて、「国際溶接セミナー2007 (International Welding Seminar 2007)」と題した日本-インドネシアの若手主体の溶接研究者セミナーが催されました。本セミナーは、定期的に行われているアジア溶接連盟 (AWF) 会議に併せて開かれており、今回はAWFとインドネシア溶接学会 (Indonesian Welding Society; IWS) が後援となり開催されました。会場は、ジャカルタの中心部からやや南に位置するグラン・メリア・ホテルです。ホテルの一角に位置するコンベンションホールのようなところを会場に開催されました。詳細は次のとおりです。

セミナー名: International Welding Seminar 2007

副題: Recent Welding Technology & Materials in Oil, Gas & Construction Industries; Development of Our Welder through Education

日時: 2007年10月23日 (火) 9:20～16:30,
24日 (水) 8:50～12:00

場所: Gran Melia Hotel Jakarta

23日 (火): Room Mutiara 1 and 3

24日 (水): Room Mutiara 2

セミナーでは、日本から5件、インドネシアから6件、中国から1件の講演があり、計12名の発表者が一日半



図1 初日の出席者全員での記念撮影.

かけて実施した活気に満ちたセミナーとなりました。日本からの発表者は Uceu Suhuddin (東北大学), 久保 裕也 (神戸製鋼所), 武市 祥司 (東京大学), 田中 学 (大阪大学) と筆者 (佐藤) の 5 名になります。定員 100 名の会場は常に満員であり, 講演後にも活発な討論が繰り広げられました。質疑討論では時間超過もありましたが, 休憩時間を調整するなどして, オンタイムで終了できたのには驚きました。インドネシアにおける研究としては, 鋳鉄や鋳物の補修に関するものが多く, 日本よりもより実用的な観点から研究が進められているという印象でした。初日, 2 日目のセミナーのクロージングでは, インドネシア溶接学会から講演者に対する記念品の贈呈, さらに記念撮影がそれぞれ行われました (図 1)。

初日のセミナー終了後, AWF 会議参加者にセミナー参加者を交えた懇親会が開催されました。会場は, ジャカルタ北部のアンチョール・ジャカルタ・ベイシティというアミューズメントパークにあるシーフードレストランであり, セミナー開催ホテルから大型バスでの移動となりました。レストランは海に面したオープンスペースで郷土音楽の生演奏を聞きながら食事を楽しむという気持ちのよい空間でした (図 2)。料理は魚介類を炒めたり揚げたりした郷土料理が中心で, 非常に素朴な味が印象に残っています。

筆者のジャカルタ滞在はたったの 3 泊 4 日であり, インドネシアを十分に楽しんだというには程遠い状況でした。しかし, 混沌した中にもインドネシア人の真面目な



図 2 懇親会にて。

一面を垣間見ることができ, 大変好印象を持ちました。また, 機会がありましたら, 是非訪問したいと思います。

若手会員の会では, 今後もアジア各国で開催される若手研究者セミナーに積極的に協力していくつもりです。興味がある方には, 思う存分アジアへ羽を伸ばしていただき, 人的ネットワークを構築し, さらにご自身の研究・業務の糧にさせていただけるよう全面的にサポートいたします。皆様の積極的な参加を心からお待ちしております。

最後になりましたが, 本活動にご理解, ご協力を頂いております溶接学会会員各位, 日本溶接協会会員各位, 本セミナー開催にご尽力いただいたインドネシア溶接学会会員各位, AWF 各国代表者各位に御礼申し上げます。